資料３

第３期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート（令和７年度）

Ⅰ　芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

戦略１　芦屋流おもてなし

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度取組状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	芦屋流情報発信プロジェクト 担当課：企画政策課 ポータルサイトやSNS などを活用した効果的な情報発信を推進します。また、イメージキャラクター「アッシー」やロゴマーク、プロモーションツールを活用し、統一イメージでの町の情報発信を推進します。さらに、情報発信は町外だけでなく、町内に対しても行うことで、住民が芦屋の魅力に気づき、自ら情報発信していく機運づくりを推進します。	プロモーションサイトの新着件数	13件（R5）	【実施状況等】 移住・定住及び交流人口増加を目的として、観光、子育て、移住・定住情報などを掲載した、芦屋町のプロモーションサイトを運用し、担当課と情報共有をしながら、積極的な情報発信を行いました。	目標値	5年間累計　95件				
				【今後の取組】 町の情報がより多くの人へ届くよう、引き続き担当課と情報共有しながら、プロモーションサイトを積極的に活用します。	年度実績 （累計）	49件				
					取組及び実績の総合評価	A				
		公式フェイスブック・インスタグラムの投稿件数	269件（R5）	【実施状況等】 地域おこし協力隊が町のイベントを中心に公式フェイスブック及びインスタグラムの投稿を行い、情報発信に努めました。	目標値	5年間累計　1,350件				
				【今後の取組】 地域おこし協力隊の退任に伴い、新たに会計年度任用職員を雇用し、公式フェイスブック及びインスタグラムの投稿を実施することで、町の情報を積極的に発信します。 併せて、毎月末に投稿件数の進捗を把握し、年間を通して計画的な発信及びＫＰＩの達成を目指します。	年度実績 （累計）	264件				
					取組及び実績の総合評価	B				
		公式フェイスブック・公式インスタグラムのフォロワー数	1,503人 （R6.9月）	【実施状況等】 フォロワー数増加の取組として、当初１回を予定したイベント出展を３回（宗像こども祭り、町村フェア、ＪＲＡ小倉競馬場イベント）実施しました。イベント出展では、フォローしてくれた人を対象に輪投げゲームなどを実施し、フォロワー数の増加を図りました。	目標値	R11年度　2,600人				
				【今後の取組】 引き続きイベントに出展し、フォロワー数を増やすキャンペーンを行います。また、投稿内容を分析し、フォロワー数が増える投稿を行います。	年度実績	1,841人				
					取組及び実績の総合評価	S				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・町公式ＳＮＳやＫＢＣテレビのｄボタン広報誌など、情報発信ツールを職員に周知徹底し、職員の意識向上に努めました。 ・各種イベントにアッシーが参加し、町のＰＲを行いました。（24回） ・各係からの申請に応じてアッシーのノベルティを配布し、プロモーションツールとして活用してもらいました。（24件） ・YouTube広告の配信などで、作成した観光ＰＲ動画を活用し、町の魅力発信に努めました。（広告再生回数：1,546,886回）			実施項目評価	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	効果的な観光案内の推進 担当課：産業観光課 町内の事業所などに「あしやナビガイドブック」を配架するとともに、ＳＮＳを活用した観光スポットの紹介動画を発信するなど観光案内を推進します。あわせて、住民ガイドの育成に取り組むとともに、イベント告知や旬な情報発信をＳＮＳなどを活用して行います。	観光スポット紹介動画投稿件数	1件（R5）	**【実施状況等】** SNSを担当する地域おこし協力隊員が休暇に入ったため、観光スポット紹介動画の投稿を行うことができませんでした。	目標値	R11年度　5件				
				【今後の取組】 令和８年４月復帰の地域おこし協力隊員と調整の上、年間スケジュールの作成を作成し、観光スポット動画の投稿を行います。	年度実績	0件				
					取組及び実績の総合評価	D				
		あしや砂像展インスタグラム投稿件数	26回（R5）	**【実施状況等】** あしや砂像展や関連イベントについて、あしや砂像展インスタグラムを活用して積極的に情報発信した結果、令和７年度は過去最高の投稿数となりました。	目標値	5年間累計　130件				
				【今後の取組】 あしや砂像展のイベント情報について、担当者間の情報共有を図りながら、計画的にインスタグラムによる投稿を行います。	年度実績 （累計）	46件				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・町内の事業所67カ所に「あしやナビガイドブック」を配架しました。 ・住民ガイドの育成について検討するため、観光あしや協議会において観光客に対するおもてなし事例の情報共有を行いました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅰ　芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

戦略１　芦屋流おもてなし

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	芦屋町ふるさと観光大使の推進 担当課：企画政策課 町の魅力を広く県内外に発信し、町の認知度及びイメージの向上を図るため、様々な分野で活躍している人を「芦屋町ふるさと観光大使」として任命し、町の観光情報などの発信によるプロモーション活動を推進します。	芦屋町ふるさと観光大使	13件（R5）	**【実施状況等】** コンバット満氏について、引き続き芦屋町ふるさと観光大使を委嘱することで調整しました。 また、芦屋町出身の落語家である露の五郎氏について、夢リアホールで「露の五郎襲名披露公演」を行う際に芦屋町ふるさと観光大使の就任を打診し、承諾を得ることができました。	目標値	R11年度　2人				
				【今後の取組】 引き続きコンバット満氏、露の五郎氏に芦屋町ふるさと観光大使を委嘱します。併せて、新たな候補者の発掘に取り組みます。	年度実績	2人				
					取組及び実績の総合評価	A				
		芦屋町ふるさと観光大使によるプロモーション件数	24件（R5）	**【実施状況等】** コンバット満氏について、ボートレースの予想会で来町する際にＰＲ素材の撮影を実施し、コンバット満氏のＳＮＳと町公式ＳＮＳで発信しました。（計24回） 露の五郎氏については、観光大使就任式や落語家としての活動、ブランド認定品の紹介動画などを、町公式ＳＮＳで発信しました。（計８回） 令和７年度に露の五郎氏をふるさと観光大使に委嘱したことで、当初予定よりも発信回数を伸ばすことができました。	目標値	5年間累計　120件				
				【今後の取組】 コンバット満氏については、引き続きＰＲ素材の撮影及びＳＮＳでの発信を行います。 露の五郎氏については、ブランド認定品の紹介動画を町公式ＳＮＳで発信を行います。併せて、落語やなぞかけを取り入れた投稿を行います。	年度実績 （累計）	32件				
					取組及び実績の総合評価	S				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・露の五郎氏の襲名披露公演を町内で実施しました。（１回）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
①	海岸線や海を生かした魅力向上プロジェクト 担当課：産業観光課 海浜公園や夏井ケ浜はまゆう公園の整備、洞山エリアの観光整備など、変化に富んだ海岸線を生かした魅力づくりを推進します。また、花火大会や砂像展など既存イベントの充実・魅力向上を図るとともに、住民や町内各事業者との連携強化を推進し、町内回遊性の向上を図ります。	観光入込客数	587,604人 （R5）	**【実施状況等】** 令和７年度は夏のレジャープールアクアシアン、秋のあしや砂像展で多くの人が来町したことで、大きく実績を伸ばしました。 取組としては、海浜公園等の適切な維持管理を行ったほか、あしや砂像展来場者への町内観光スポットの案内や、芦屋町商工会が実施する町内飲食店をめぐるスタンプラリーへの支援を行いました。 また、あしや砂像展と芦屋釜の里との相互割引を実施することで、町内回遊の向上に努めました。	目標値	R11　587,604人				
				【今後の取組】 引き続きあしや砂像展や花火大会などのイベントを実施し、来町者の増加を図ります。 併せて、芦屋町観光協会や芦屋町商工会と協議を行い、関係者との連携強化や町内回遊施策の実施に取り組みます。	年度実績	703,520人				
					取組及び実績の総合評価	A				
		町内周遊施策件数	2件（R5）	**【実施状況等】** 町内周遊施策として、あしや砂像展来場者に対し、町内観光スポットの案内や芦屋町商工会による町内飲食店をめぐるスタンプラリーの周知を行いました。	目標値	5年間の累計　10件				
				【今後の取組】 引き続きあしや砂像展来場者への町内観光スポットの案内を実施し、町内周遊を促します。 併せて、町内観光スポットの周知を強化するため、インフルエンサーによるＳＮＳの投稿に取り組みます。	年度実績 （累計）	2件				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・芦屋町観光基本構想の推進について協議するため、観光あしや協議会の開催しました。（４回） ・魚見公園の整備工事を行いました。（令和８年４月１日リニューアルオープン）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	歴史・文化資源魅力向上プロジェクト 担当課：芦屋釜・歴史文化課 町内外の人々に、町の豊かな歴史・文化をより知ってもらうために、芦屋歴史の里を核として、歴史・文化資源の情報発信や、それらを活用した体験プログラムなどの実施を推進します。また、芦屋歴史の里の魅力向上のため、常設展の展示内容の充実を図るとともに、特別展などを実施します。	芦屋歴史の里年間来場者数	3,010人（R5）	**【実施状況等】** 特別展（企画展を含む）を３回、体験型講座を４回実施し、来場者の増加に努めました。 特に、令和８年２月10日から３月29日まで開催した企画展示「映画『トラ・トラ・トラ！』芦屋ロケの思い出」はメディアによる取材やＳＮＳによる口コミの効果もあり、来場者の増加につながりました。一方、当初計画していた歴史探訪バスツアーは人的要因で中止しました。	目標値	R11　5,000人				
				【今後の取組】 入館者数の増加に向け、魅力的な展覧会（特別展・企画展示）を開催します。R8年度は特別展を1回、企画展示を3回開催します。また、入館者の増加を図るため、宣伝方法の改善、新たな歴史体験講座の実施、常設展示のリニューアルなどの検討を進めます。	年度実績	4,087人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		芦屋歴史の里特別展の開催数	2回（R5）	**【実施状況等】** 当初２件実施を予定していた特別展（企画展含む）について、次の３件を開催しました。 ①企画展示「八朔の節句パネル展」令和７年９月２日～９月21日　来館者数　169名 ②特別展「金屋遺跡展」令和7年10月15日～12月７日　来館者数　563名 ③企画展示「映画『トラ・トラ・トラ！』芦屋ロケの思い出」令和８年２月10日～３月29日 　来館者数　1,670名（当初予定なし）	目標値	5年間の累計　10回				
				【今後の取組】 令和８年度は特別展（企画展を含む）を計４回開催します。 常設展示のみでは来館者数を伸ばすことが難しいため、より魅力的な展覧会のラインナップの増加を図ります。 また、歴史文化の発信という観点からも、企画展の周知は非常に重要であるため、来館を促進するため、有効な宣伝方法を検討します。	年度実績 （累計）	3回				
					取組及び実績の総合評価	S				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・体験講座を実施し、来館者の増加に努めました。（化石探検：参加者32名、わら馬講習会；参加者21名、大珠づくり：参加者８名、錫の古銭づくり：参加者８名） ・定期的にホームページ更新し、情報発信に努めました。（14回）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	着地型観光の推進 担当課：産業観光課 芦屋町観光協会と連携し、既存の体験プログラムの充実や外国人観光客向けの体験プログラムの推進を図ります。また、町内を回遊できる仕組みとして、レンタサイクル事業を推進します。	あしや体験隊プログラム実施件数	47件（R5）	**【実施状況等】** 芦屋町観光協会と連携してあしや体験隊（体験プログラム）の充実を図り、62の講座を準備し、４講座（17回）を開催しました。	目標値	5年間の累計 200件				
				【今後の取組】 引き続きあしや体験隊（体験プログラム）の充実と推進を図るため、芦屋町観光協会と連携します。また、現在はチラシやホームページが中心となっている情報発信について、ＳＮＳを活用した周知に取り組みます。	年度実績 （累計）	62件				
					取組及び実績の総合評価	A				
		レンタサイクル利用者数	3,823人（R5）	**【実施状況等】** 芦屋町観光協会と連携し、ホームページにおいてレンタサイクル及びサイクリングロードの周知を行いました。	目標値	5年間の累計　20,000人				
				【今後の取組】 レンタサイクル利用者の増加を図るため、ホームページでの周知と併せて、ＳＮＳによる情報発信に取り組みます。	年度実績 （累計）	3,673人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	芦屋釜の里魅力向上プロジェクト 担当課：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里を茶の湯文化を体験できる施設として活用するとともに、観光資源として活用するため、集客の仕組みづくりや町内観光施設などと連携した回遊の仕組みづくり、外国人観光客の受入れ対応の充実に取り組みます。また、鋳物師（いもじ）と連携した体験プログラムの創出、土産品の開発を推進します。あわせて、芦屋釜の認知度向上と鋳物師の地場化を推進するため、企画展の実施や芦屋釜復興の取り組みについて情報発信するとともに、重要文化財指定芦屋釜の活用を図ります。	芦屋釜の里年間来場者数	11,650人（R5） ※ただし、臨時休館期間あり	**【実施状況等】** 芦屋釜の里開館30周年を記念した特別展などを開催し、来館者数を増やす事業を展開しました。閑散期となる１月から３月にかけては、海外からのツアー客が増加したことから、来場者数の増加につながりました。 また、ホームページやインスタグラム、有料広告掲載の実施など、施設や特別展のＰＲを図りました。	目標値	R11年度 20,000人				
				【今後の取組】 入館者数の増加に向け、引き続き魅力的な展覧会（特別展・企画展）を開催します。 また、各種ＳＮＳや広告を活用し、施設や展覧会の周知を行います。 併せて、芦屋釜の里を観光資源として活用するため、産業観光課や旅行会社との情報交換や、福岡県観光部門の国内外誘客事業等に協力し、来場者の増加を図ります。	年度実績	19,195人				
					取組及び実績の総合評価	A				
		芦屋釜の里企画展の開催数	2回（R5）	**【実施状況等】** 企画展について、当初予定どおり次の２件を開催しました。 ①復興芦屋釜の美～館蔵名品選～　令和７年４月22日～６月29日開催　　来館者数 3,439人 ②芦屋釜の美と鋳物師の技　令和７年10月15日～12月７日開催　来館者数 5,138人	目標値	5年間の累計　10回				
				【今後の取組】 令和８年度は企画展（特別展含む）を計２回開催します。 併せて、体験講座や呈茶イベントと併せて、お盆時期の特別呈茶やハロウィン時期の呈茶など、新たなイベントを実施します。 また、貴重な文化財の借用許可を受けるため、専門的な施設管理による適正な環境整備を行いながら、文化庁及び県との協議、借用先との交渉を行います。	年度実績（累計）	2回				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・体験講座や呈茶イベントなどを実施しました。（23回） ・定期的にホームページ更新し、情報発信に努めました。（62回） ・インスタグラムによる投稿を実施し、情報発信に努めました。（122回） ・外部展示による芦屋釜の知名度向上を図りました。（福岡県知事公舎、福岡県アンテナレストラン、福岡県よかもん広場、福岡県武道館）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	芦屋港のレジャー港化推進 担当課：芦屋港活性化推進室 福岡県が管理する地方港湾芦屋港を、観光レジャー要素をもつ港の機能に変更し、周辺機能と一体的な空間形成を図ることで、本町の海の魅力を生かした地方創生・観光まちづくりを推進します。港の特性を生かし、ボートパークや海釣施設、漁協の近さを生かした飲食・直売施設の整備をはじめ、緑地帯・砂浜を有効活用した他にない特徴的な空間を形成し、港を中心とした周辺地域に新しい人の流れを創出します。また、港湾施設の管理運営体制として、地域に根差した持続可能な組織形成に向けて、外部人材を登用し、地域の人材育成・ネットワーク化を図るとともに、賑わい創出のため住民の機運醸成に取り組みます。	芦屋港における年間訪問者数	0人（R5） ※開業前のため	**【実施状況等】** 官民連携アドバイザリー業務を実施し、1号上屋活用に係る事業スキームや事業手法について検討を進めました。また、民間事業者との意見交換や市場調査を通じて、施設活用に関するニーズや事業成立性を整理し、事業の実施方針を示しました。 ※芦屋港活性化事業全体としては、当初計画から事業開始が後ろ倒しになっているものの（当初：令和５年度開業予定）、令和７年度の取組予定に関しては計画どおりに推進できました。	目標値	R11年度　150,000人				
				【今後の取組】 アドバイザリー事業者の支援を受けながら事業スキームを具体化し、事業者公募に向けた条件整理を進めます。また、民間事業者との対話を継続し、市場性や事業採算性を踏まえた公募条件を設定します。併せて、福岡県や関係機関との協議を継続し、事業実施に必要な役割分担や施設整備の方向性を整理します。	年度実績					
					取組及び実績の総合評価	A				
		ボートパーク利用率	0%（R5） ※開業前のため	**【実施状況等】** 当初、ボートパークは指定管理者制度を導入することとして事業者募集を進めてきましたが、参加表明書提出期限までに事業者の応募がありませんでした。そのため、庁内協議を重ねた結果、芦屋港ボートパークの管理運営は町が行うこととし、一部専門的な知識を要する維持管理業務等について業務委託での事業者募集を行うこととしました。	目標値	R11年度 86%				
				【今後の取組】 維持管理事業者の選定を行い、安全で魅力ある施設運営体制を構築するとともに、民間事業者の専門知識やノウハウを生かした利用規定・運用ルールの策定を進め、開業に向けた準備を行います。 また、芦屋港ボートパーク及び周辺施設を一体的に活用したイベントや情報発信を実施し、交流人口の拡大を図ります。	年度実績					
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・民間事業者が参画しやすい公募条件を整理するため、市場調査（サウンディング調査）を実施しました。 ・釣りに対する興味・関心を深めるとともに、芦屋港レジャー港化に関心を持ってもらうことを目的として、芦屋小学生の４年生を対象に、稚魚放流体験を実施しました。 ・芦屋港ボートパーク開業前に機運醸成を図るため、仮想空間「メタバース芦屋港」を運用しました。（年間プレイ人数：1,723人）				**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	ボートレース芦屋と連携した魅力発信 担当課：産業観光課 ボートレース芦屋と連携し、本町の観光情報の発信や観光PRを実施し、町内回遊性の向上や魅力発信を図ります。あわせて、ボートレース芦屋と連携したイベントを実施し、本町とボートレース芦屋の双方の魅力を発信します。	モーヴィ芦屋を活用した情報発信件数	5件（R5）	**【実施状況等】** ４つの事業（あしや砂像展への出張モーヴィ、モーヴィ芦屋でのあしや砂像展チケット配布、砂像の広報用シールをモーヴィあしや付近の1階のテーブルに貼付、モーヴィ芦屋への観光パンフレットの配架）を実施し、情報発信を行いました。	目標値	（5年間の累計）　25件				
				【今後の取組】 実施内容がマンネリ化しているため、例年実施している事業に加え、ボートレース芦屋を活用した新たな観光ＰＲの施策を企画・実施します。	年度実績（累計）	4件				
					取組及び実績の総合評価	B				
		ボートレース芦屋連携イベント実施回数	0回（R5）	**【実施状況等】** 町の観光情報を発信し観光ＰＲを図るため、ボートレース芦屋のグレードレースの開催時に連携イベントを実施することを検討していましたが、日程や企画内容が折り合わず、実施することができませんでした。	目標値	（5年間の累計）　5回				
				【今後の取組】 あしや砂像展に関するイベントの実施に向けて、ボートレース芦屋と日程及び企画の調整を行います。	年度実績（累計）	0回				
					取組及び実績の総合評価	D				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	C				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	移住・定住促進プロジェクト 担当課：環境住宅課 移住・定住のための効果的な町の制度の情報発信をするとともに、「定住促進奨励金制度」を推進し、移住・定住支援策に取り組みます。あわせて、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した、「移住支援事業」を福岡県と連携して推進し、県外からの移住支援策を講じます。	移住セミナーの開催・出展回数	1回（R5）	【実施状況等】 東京で行われたふるさと回帰フェアに出展しました。当日の相談件数は14件（19名）で、そのうち１名は実際に芦屋町に移住するなど、出展による効果も出ています。	目標値	5年間の累計　5回				
				【今後の取組】 引き続きふるさと回帰フェアに出展し、芦屋町への移住を促進します。また、相談者により取得したい自治体情報が違うため、芦屋町全般の情報を出展の事前に収集し、限られた時間の中で効率よく相談受付を行います。	年度実績（累計）	1回				
					取組及び実績の総合評価	A				
		定住促進奨励金を活用した移住・定住世帯 ※R9で補助制度が終了する予定	30世帯（R5）	【実施状況等】 転入者への案内を徹底するとともに、制度の周知を図るため、町内及び折尾駅周辺の不動産業者へ芦屋町の補助金制度の説明と情報共有、チラシの配布を行いました。また、申請者の利便性向上のため、電子申請の導入しました。	目標値	R9までの累計 100世帯				
				【今後の取組】 引き続き制度の周知を徹底し、移住・定住世帯数の増加を図ります。 不動産会社への訪問については町外への補助金の周知と併せて、芦屋町の賃貸住宅や他市町の賃貸住宅の情報得られる良い機会であると考えていますが、今後は効率性や有効性などを鑑み、新たな方法も検討します。	年度実績（累計）	33世帯				
					取組及び実績の総合評価	A				
		移住支援金を活用した移住世帯	1世帯（R5）	【実施状況等】 福岡県と連携して、一定の条件を満たした県外からの移住者に対して交付する移住支援金事業を継続して実施しました。 ホームページでの周知や問い合わせへの対応により、１世帯の転入につながりました。	目標値	5年間の累計　3世帯				
				【今後の取組】 問い合わせに対するマニュアルを整備し、回答時間の短縮と間違え防止を図ります。 また県予算に限りがあり、申請が早い順に交付決定されることから、具体的な問い合わせがあった際は早めに県と情報共有を行い、迅速な交付に努めます。	年度実績（累計）	1世帯				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・「ふるさと回帰フェア」で来場者への芦屋町の観光地やご当地キャラクターなどのＰＲを行いました。 ・「ふるさと回帰フェア」で芦屋町の賃貸物件の一部を紹介しました。 ・「ふるさと回帰フェア」で芦屋町の補助金について紹介しました。				実施項目評価	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②</td><td rowspan="5">空家有効活用プロジェクト
担当課：環境住宅課
空家バンクを周知・活用するとともに、「中古住宅解体後の新築住宅建築補助金制度」を推進し、空家の改善対策を図ります。</td><td rowspan="2">空家バンクの売買・賃貸契約件数</td><td rowspan="2">5件（R5）</td><td rowspan="2">【実施状況等】
空家バンクへの掲載数増加を目的に、ホームページでの情報発信と併せて、税務課から住民に送付する固定資産税課税明細書に制度案内を同封しました。
また、空家の適正管理の通知送付後にリアクションがあった所有者等に、必要に応じて空家バンクを紹介しました。空家バンクに掲載中の物件については、３か月に１件程度相談がある状況です。

【今後の取組】
引き続き窓口やホームページでの情報発信、各種通知による空家バンクの周知を行い、掲載物件及び売買・賃貸契約数の増加を目指します
併せて、老朽危険家屋等解体補助金に非該当となり解体を断念する意向の住民の方に対しても、空家バンクの制度を案内します。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　5件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">年度実績
（累計）</td><td rowspan="2">1件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">中古住宅解体後の新築住宅建築補助金交付件数

※R9で補助制度が終了する予定</td><td rowspan="5">3件（R5）</td><td rowspan="5">【実施状況等】
ホームページでの情報発信と併せて、税務課が住民に送付する固定資産税課税明細書に制度案内を同封しました。
また、老朽危険家屋等解体補助金が非該当となった方への制度の紹介を行いました。令和７年度の実績は１件でしたが、今後につながる取り組みは実施できています。

【今後の取組】
現在の取組を継続して実施します。
また、建替えや新築住宅の建築を行う際に条件を満たすものが少ないが、制度活用が可能な人に情報が届くように、窓口での周知を行います。</td><td>目標値</td><td colspan="5">R9までの累計　10件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">年度実績
（累計）</td><td rowspan="2">1件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>取組及び実績の総合評価</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
・固定資産税の納税通知書発送時に、町の空家に関する制度を紹介するチラシを封入し、空家の有効活用のための制度の周知を行いました。</td><td>実施項目評価</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める

戦略１　芦屋ならではの事業者支援

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	農業・漁業の事業者支援 担当課：産業観光課 芦屋産の農作物収穫量・漁獲量の増加や、それらの消費拡大に向けた取り組みを推進します。 また、施設・設備整備支援を行うことで、農業・漁業者の支援を行います。	認定農業者数	13 人 (R5)	**【実施状況等】** 認定農業者制度の周知、認定までの支援、認定農業者への補助金の支援を実施し、令和７年度は認定農業者が２名増加しました。 認定農業者の条件には労働時間や年間所得があり、一定規模の耕作面積が必要となるため、農地の少ない芦屋町において認定農業者数を大幅に増やしていくことは難しい状況です。	目標値	R11年度　15 人				
				【今後の取組】 認定農業者のメリットを増やしていくため、支援の拡大が課題であることから、新たな補助金の検討を行います。 併せて、認定農業者の更新に関しても手続きが必要となることから、改めてメリット等の説明を行い、更新時期に計画認定申請の作成補助などの更新支援により、認定農業者の減少を防ぎます。	年度実績	15人				
					取組及び実績の総合評価	A				
		漁業者一人当たりの水産物取扱高	3,616 千円 (R5)	**【実施状況等】** 藻場再生のため、水産多面的機能強化対策事業によりウニ駆除を実施しています。令和７年度より、ウニ駆除のエリアを拡大（9.1ha→14.1ha）し、事業が実施できたことが、漁獲量増加の一助となりました。	目標値	R11年度　3,650 千円				
				【今後の取組】 ウニ駆除の事業拡大については、実施主体の漁協及び関連市町村と連携し、県と協議を行います。また、水産物取扱高向上のため、水産多面的機能強化対策事業以外の事業を検討します。	年度実績	3.874千円				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・農業に係る次の事業を実施しました。 トラクター購入補助、鳥獣対策（協議会補助）、経営所得安定対策（協議会補助）、環境保全型農業推進（団体補助）、多面的機能推進（団体補助）、水稲種子助成　など ・漁業に係る次の事業を実施しました。 ウニの養殖施設の補助　など			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める

戦略１　芦屋ならではの事業者支援

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th>重要業績評価指数
（KPI）</th><th>基準値
（基準年度）</th><th>令和７年度実施状況等</th><th colspan="7">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><td>空店舗・空家を生かした起業・誘致
担当課：産業観光課</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②</td><td rowspan="4">空き店舗等活用事業及び空き店舗バンクを実施し、空き店舗などの利用促進、商業の振興及びまちのにぎわいづくりを推進します。</td><td rowspan="2">空き店舗等活用事業補助金の新規交付件数

※R9で補助制度が終了する予定</td><td rowspan="2">7件
(R5)</td><td>【実施状況等】
空き店舗等活用事業補助金について、ホームページや窓口での案内等により周知をおこないました。
併せて、芦屋町商工会においても、創業に興味のある人に対して、当該補助金の周知や案内を行いました。
空き店舗の活用においては、建物の老朽化に加え、店舗兼住宅であることなどから消極的なケースがあり、空き店舗の流通や利活用を進めるうえでの課題となっています。</td><td>目標値</td><td colspan="5">R9年度までの累計　15件</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
引き続きホームページや広報あしやでの制度の周知を行います。
併せて、芦屋町商工会と協議し、空き店舗等活用事業補助金に代わる事業者支援の取組を検討します。</td><td>年度実績
（累計）

取組及び実績の総合評価</td><td>4件

B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">空き店舗バンク登録数

※R9の補助制度終了にあわせて終了予定</td><td rowspan="2">3件
(R5)</td><td>【実施状況等】
空き店舗バンクの活用に向け、芦屋町商工会と協力して周知に取り組みました。
空き店舗の老朽化や店舗兼住宅であることなどから空き店舗バンクへの登録に至らないことが課題となっています。</td><td>目標値</td><td colspan="5">R9年度までの累計　10件</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
引き続き空き店舗の実態把握に努めるとともに、ホームページや広報あしやでの空き店舗バンクの活用に向けた周知を行います。</td><td>年度実績
（累計）

取組及び実績の総合評価</td><td>3件

A</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
特記事項なし</td><td>実施項目評価</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><td>プレミアム商品券の発行
担当課：産業観光課</td><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①</td><td rowspan="5">商工会が発行する電子商品券を含むプレミアム付き商品券の発行を支援します。町内の既存店舗で消費できる商品券の発行を支援することで、既存店舗の利用を促進し、消費喚起と活力ある事業所づくりを推進します。</td><td rowspan="2">プレミアム付き商品券発行総額</td><td rowspan="2">202,500 千円
(R5)</td><td>【実施状況等】
物価高対策及び町内商工業の振興を目的として、芦屋町商工会が実施するプレミアム付き商品券発行事業に対して、補助金の交付や広報あしやへの案内チラシの折り込み等の支援をしました。（プレミアム率35%）</td><td>目標値</td><td colspan="5">R11年度　84,000千円</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
芦屋町内の既存店舗の利用促進を図るため、引き続きプレミアム付き商品券事業への補助や支援を実施します。</td><td>年度実績</td><td>202,500円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">プレミアム付き商品券発行総額に対する電子商品券の割合</td><td rowspan="2">20%
(R5)</td><td>【実施状況等】
電子商品券の発行について、芦屋町商工会と適宜協議を行い、補助金の交付や広報あしやへの折込み（周知）などの支援をしました。
県補助金の要件や精算業務の負担軽減の観点から、プレミアム付き商品券発行総額に対する電子商品券の割合を増やす必要があります。ただ、家族間での共有などの面から、紙での発行に対するニーズが高い状況です。</td><td>目標値</td><td colspan="5">R11年度　50%</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
引き続き電子商品券の割合を高めていくために、遠賀郡内の自治体担当者や商工会担当者と情報共有を行います。
併せて、電子商品券の利便性をＰＲするため、ホームページなどで情報発信を行います。</td><td>年度実績</td><td>40%</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
特記事項なし</td><td>実施項目評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める
戦略２　活力ある事業所づくり

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	町内事業者への支援 担当課：産業観光課 制度融資を推進し、町内事業者の事業拡大や設備投資などの支援を行います。	制度融資新規利用件数	15 件（R5）	**【実施状況等】** 町内の金融機関と連携し、ホームページで芦屋町制度融資の周知に取り組むことで、町内事業者の資金調達の円滑化を図りました。 新規利用件数が前年度比（令和６年度：18件）で大きく増加した要因としては、金融機関が事業者への集中訪問を実施したこと、郡内の他町に比べて信用保証料補助が優遇されていることと考えられます。	目標値	5年間の累計　50 件				
				【今後の取組】 引き続きホームページでの情報発信に取り組むとともに、新たに広報あしやへの掲載を行います。併せて、芦屋町商工会との連携し、商工会広報誌での周知を検討します。	年度実績 （累計）	29件				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める
戦略２　活力ある事業所づくり

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
③	雇用の確保対策 担当課：産業観光課 企業誘致条例に基づく取り組みや創業促進支援事業を実施し、企業誘致や起業の支援などを行うことで、雇用の増加を図ります。また、企業誘致条例がより活用しやすくなるよう見直しを 検討します。	企業誘致条例・創業促進支援事業補助金を 活用した新規雇用者	18 人（R5）	**【実施状況等】** 企業誘致条例に基づく取組や芦屋町創業促進支援事業補助金について、ホームページでの周知及び商工会での案内を行い、制度の活用に努めました。	目標値	5年間の累計　25 人				
				【今後の取組】 企業誘致条例に基づく取組や芦屋町創業促進支援事業補助金について、引き続きホームページで周知及び商工会での案内を行います。 併せて、芦屋町創業促進支援事業補助金要綱について、審査を行う芦屋町商工会と協議し、現状や課題にあわせた要綱の見直しを行います。	年度実績 （累計）	5人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・ハローワークからの求人情報を産業観光課窓口への配架しました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める

戦略３　地産地消の推進

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><th></th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th></tr>
<tr><td rowspan="5">①</td><td>地域産品の名産化の推進
担当課：産業観光課</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">本町の主な農作物、水産物が「芦屋町に来たら食べたい・買いたい名産品」となるよう、飲食店での提供の促進やフェアなどのイベントを通じた情報発信により認知度向上に努めます。あわせて、ブランド化などを図るとともに販路拡大に取り組みます。</td><td rowspan="3">ブランド認定新規認定件数</td><td rowspan="3">2 件（R5）</td><td rowspan="2">【実施状況等】
芦屋産品の芦屋町ブランド認定品への登録を促進し、新たに14件の登録につながりました。
また、芦屋町内施設へのポスターの掲示や、あしや砂像展会場及び芦屋釜の里での販売により、芦屋町ブランド認定品の周知を図ることができました。一方、販路の拡大が課題となっています。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　25件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">【今後の取組】
引き続き芦屋町産品の名産化に向け、イベント等への出店及び芦屋産品の周知に取り組みます。併せて、ＳＮＳを活用した芦屋町ブランド認定品の周知に取り組みます。</td><td rowspan="2">年度実績
（累計）</td><td rowspan="2">14件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">イベント出店件数</td><td rowspan="3">9 件（R5）</td><td rowspan="2">【実施状況等】
芦屋町産品の名産化に向け、JR博多駅や福岡県庁ロビー展、ふくおか町村フェア等に出店し、芦屋町ブランド認定品の周知に取り組み、芦屋町ブランド認定品の認知度向上及び販路拡大を図りました。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　25件</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
芦屋町ブランド認定品を中心とした芦屋町産品の名産化に向け、イベント等への出店回数の確保を図ります。</td><td rowspan="2">年度実績
（累計）</td><td rowspan="2">8件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
・あしや砂像展会場及び芦屋釜の里で芦屋町ブランド認定品の販売を行いました。</td><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>実施項目評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

Ⅱ　芦屋ならではのしごとづくりを進める

戦略３　地産地消の推進

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6" rowspan="2">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><th>実施概要</th></tr>
<tr><td rowspan="4">②</td><td>学校給食への地産地消の推進</td><td rowspan="4">学校給食への地元水産物の提供回数</td><td rowspan="4">0 回（R5）</td><td rowspan="2">【実施状況等】
給食センターと遠賀漁協と協議を行い、生ひじき（サラダ）の提供を1回行いました。しかし、価格の関係で他のメニューに影響が出るなど、課題もありました。</td><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当課：産業観光課</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　5回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">芦屋産の農産物と同様に水産物も学校給食で提供することで、地元水産物に関心を持ってもらい、地産地消を推進します。また、地産地消の重要性を知ってもらうとともに、食からの水産物離れを抑制します。</td><td rowspan="2">【今後の取組】
引き続き、漁協と給食センターと協議を行い、生ひじきの価格調整や、他の品目への変更を検討します。</td><td rowspan="2">年度実績
（累計）</td><td rowspan="2">1件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
特記事項なし</td><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>実施項目評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

戦略１　結婚・出産の希望実現

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
①	出会いの場の創出 担当課：健康・こども課 結婚を望む人たちに出会いの場を提供し、出会い・結婚を支援します。また、福岡県及び近隣自治体と連携し、若者の出会いの場づくりを推進します。	出会いの場の提供回数	1 回（R5）	**【実施状況等】** 県及び遠賀郡４町で連携し、婚活イベント（相性診断は本当に当たるのか？MBTI相性婚活♪）を１回開催しました。当日は男性15人、女性15人が参加し、３組のカップルが成立しました。 また、開催にあたっては、航空自衛隊芦屋基地と連携し、参加者を募りました。	目標値	5年間の累計　5 回				
				【今後の取組】 引き続き福岡県出会い・結婚応援事務局が行うイベント（複数市町村と連携した広域的な出会いイベント）に協力し、出会いの場の提供につなげます。	年度実績（累計）	1回				
					取組及び実績の総合評価	A				
		出会いの場の参加者数	15 人（R5）	**【実施状況等】** 実施した婚活イベント（相性診断は本当に当たるのか？MBTI相性婚活♪）について、男性10人、女性10人の募集に対し、男性24人、女性24人の応募があり、急きょ催行人数を男性15人、女性15人に増やし実施しました。応募が増加した要因としては、対象地域に北九州市も加わったことと、話題のMBTI診断をテーマとしたことと考えています。	目標値	5 年間の累計　80 人				
				【今後の取組】 引き続き福岡県出会い・結婚応援事務局が行うイベント（複数市町村と連携した広域的な出会いイベント）に協力し、出会いの場の提供につなげます。	年度実績（累計）	30人				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

戦略１　結婚・出産の希望実現

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	妊娠期から出産までの支援充実 担当課：健康・こども課 不妊治療費助成制度や出産祝金交付事業を推進するとともに、妊婦の健康状態の把握、不安解消のための訪問やフォローアップのためのアンケート調査などにより、妊娠期から出産までの相談や支援を推進します。	妊婦健診の受診率	94.3％（R5）	**【実施状況等】** 母子健康手帳交付時に妊婦健診の必要性について説明するとともに、妊娠５か月の体調伺いの電話や妊婦訪問等を実施し、妊娠期から出産まで切れ目のない相談支援を行いました。 なお、妊婦健診受診券（14回分）を交付後に流産や早産となる場合もあるため、受診率は年度により増減する可能性があります。	目標値	R11年度　100％				
				【今後の取組】 引き続き母子健康手帳交付時や妊娠５か月の体調伺い、妊婦訪問等の機会を活用して妊婦健診の受診勧奨及び相談支援を行います。	年度実績	100％				
					取組及び実績の総合評価	A				
		妊娠８ヶ月アンケートの回収率	94.3％（R5）	**【実施状況等】** 妊娠８か月の妊婦を対象にアンケートを送付し、妊婦の健康状態の把握や不安解消のためのフォロー等を実施しました。これまで返送による紙での対応であったが、令和7年度からはインターネットでの回答も可能としました。 無回答の方が一定数いるため、そのような方への妊婦の健康状態の把握や不安解消のフォローに向けた電話による聞き取りを継続していく必要があります。	目標値	R11年度　100％				
				【今後の取組】 引き続き妊娠８か月の妊婦を対象にアンケートを実施し、健康状態の把握や不安解消のための訪問・フォローアップを行います。無回答の方には、こども家庭センターから電話による聞き取りを行い、現状を把握したうえで、必要に応じて支援を継続していきます。	年度実績	93.9%				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・令和７年度から特定不妊治療費（先進医療）支援助成事業を開始し、ホームページや不妊治療を実施する医療機関へ周知を行いました。 ・出産祝金を支給しました。（46件）			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

戦略１　結婚・出産の希望実現

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	新婚･子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助制度の推進 担当課：環境住宅課 「新婚･子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助制度」を推進し、新婚世帯や子育て世帯の移住や定着を図ります。	新婚･子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助金の新規交付件数 ※R9で補助制度が終了する予定	8 件（R5）	**【実施状況等】** **町内及び**折尾駅周辺の不動産業者を訪問し、芦屋町の補助金制度の説明と情報共有、チラシの配布を行うなど、制度の周知を行いました。申請数は令和６年度（４件）から増加しています。 **【今後の取組】** 引き続き制度の周知を徹底し、移住・定住世帯数の増加を図ります。 不動産会社への訪問については効率性や有効性などを鑑み、新たな周知方法を検討します。 また、申請者の利便性向上を図るため、電子申請の導入も検討します。	目標値	R9年度までの累計　40 件				
					年度実績（累計）	11件				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・「ふるさと回帰フェア」で芦屋町の賃貸物件の一部を紹介しました。 ・「ふるさと回帰フェア」で芦屋町の補助金について紹介しました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
戦略２　芦屋のこどもは芦屋で育てる教育環境づくり

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="6">①</td><td>学校・家庭・地域の連携強化
担当課：学校教育課</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">「芦屋のこどもは芦屋で育てる」をキーワードに、学校・家庭・地域が連携するとともに、幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校の連携による一貫した教育に取り組むことで、豊かな心の育成と学力の向上、特別支援教育を推進します。また、支援を要する児童生徒の情報共有、将来を見据えた継続した支援を行うため、幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校の連携強化を図ります。</td><td rowspan="2">小中一貫教育連携授業・協議会の実施回数</td><td rowspan="2">1 回（R5）</td><td>【実施状況等】
芦屋小学校及び芦屋中学校で「学びのプロセス」に基づいた公開授業やその協議会を実施しました。これにより、小中学校で共通した指導方法を確立することができ、そのことが児童生徒の主体的な学びの育成につながりつつあります。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　5 回</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
小中一貫連携事業に関しては、小学校１校、中学校１校の計２校でこれまで実施していましたが、毎年度実施する中学校の負担が大きいことから、年度に１校の実施に見直しを行い、効率的に事業を推進します。</td><td>年度実績</td><td>2回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">幼・保・小・中への巡回相談実施回数</td><td rowspan="4">43 回（R5）</td><td>【実施状況等】
保育園、幼稚園を対象としたすくすく発達相談と小学校・中学校、あしやすてっぷくらぶを対象とした巡回相談を行い、専門家からの必要な助言・指導を受け、支援につなぐことができました。また関連機関との情報共有も行うことができました。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　210 回</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
引き続き保育園・幼稚園を対象にすくすく発達相談、小中学校を対象に巡回相談を継続して実施し、専門家とともに対象者の変容を継続的に把握することで、必要な支援につなげていきます。</td><td>年度実績
（累計）</td><td>45回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
特記事項なし</td><td>実施項目評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	英語教育の充実 担当課：学校教育課 生涯にわたって必要とされる英語によるコミュニケーション力の育成を図るため、英語教員とALT による授業、体験型英語学習及び英語検定試験の受験を推進することにより、英語力の向上に取り組みます。また、授業などで学んだ英語力を実践する場として、小学生は北九州英語村での英語体験活動、中学生は海外ホームステイ事業を英語教育における最終的な目標と位置づけ、英語教育の充実を図ります。	オンライン英会話授業の実施回数	3 回（R5）	**【実施状況等】** 小学校及び中学校ともに年間３回オンライン英会話の授業を実施しました。また、児童・生徒は意欲的な姿勢で授業に臨んでおり、外国人講師との英会話を通じ英語でのコミュニケーションを図る機会を確保できました。	目標値	5年間の累計　15 回				
				【今後の取組】 中学校については、引き続き年間３回のオンライン英会話授業を継続します。 小学校については、児童の英語でのコミュニケーションの機会や発話量を増やすという観点から、オンラインではなく外国人講師による対面型英会話授業に切り替えます。	年度実績	3回				
					取組及び実績の総合評価	A				
		英語検定試験の受験率	小学生 11.2% 中学生 29.3% （R5）	**【実施状況等】** 対象児童生徒（小学校５・６年生及び中学生）に対し、英語検定試験受験料補助事業を年３回実施しました。また、英語検定の実施と併せて、学校を通じて保護者及び児童生徒へ制度の案内を行い、補助制度の周知に努めました。 各学校での呼びかけもあり、受験者数は増加しており、小学校段階で３級（中学校卒業レベル）受験者も出てきているなど、効果が出ています。	目標値	R11年度 小学生 30%　※5.6 年生 中学生 40%				
				【今後の取組】 引き続き英語検定試験受験料補助事業を実施するとともに、学校との連携を強化し、補助制度の周知を行います。また、小学校段階から英検受験の意義を積極的に周知することで受験意欲の向上を図り、児童生徒の英語力向上につなげます。さらに、受験率の高い学校の取組事例を共有するなど、各学校での受験促進に向けた取組を推進し、受験率の向上を目指します。	実績 （小学生）	14.2%				
					実績 （中学生）	36.5%				
					取組及び実績の総合評価	A				
		英語活動体験・海外ホームステイ事業の実施回数	2 回（R5）	**【実施状況等】** 小学生を対象とした北九州英語村訪問、中学生を対象としたオーストラリアホームステイ事業をそれぞれ１回実施し、英語を活用した体験活動や異文化交流の機会を通して、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成及び国際感覚の醸成を図りました。	目標値	5年間の累計 10 回				
				【今後の取組】 引き続き両事業を実施し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。	年度実績	2回				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・小学６年生及び中学２年生を対象に、県立高校のＡＬＴを小中学校に派遣し、対面型の交流授業を実施しました。 ・外国語活動を行っている小学校３・４年生を対象に、英語にふれあう機会をつくり興味関心を持ってもらうことを目的として、夏休み期間中にイングリッシュイベントを開催しました。（参加者：20名）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
戦略２　芦屋のこどもは芦屋で育てる教育環境づくり

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	ＩＣＴ教育の推進 担当課：学校教育課 教師用デジタル教科書の全教科導入や授業支援ソフトにより、ICT機器を効果的に活用した授業を実践します。また、学校からの課題や学習支援ソフトの活用など、タブレットの持ち帰り学習を推進します。	教師用デジタル教科書の導入率	100％（R5）	【実施状況等】 令和７年度に小学校の教科書改訂が行われ、教師用指導書及び教師用デジタル教科書を令和６～７年度に全教科購入しました。また、令和８年度の中学校の教科書改訂に伴い、全教科のデジタル教科書が活用できるよう、令和７年度に教師用指導書を購入しました。	目標値	R11年度　100％				
				【今後の取組】 全教科購入済みであることから、教員による差がでないよう、授業での積極的な活用を促していきます。	年度実績	100％				
					取組及び実績の総合評価	A				
		タブレットの持ち帰り学習を実施する学校の割合	25％（R5）	【実施状況等】 令和７年２学期から全校での持ち帰り学習を実施しています。 小学校については、デジタルドリルでの宿題配信を行い持ち帰り学習が実施できていますが、中学校については、生徒の自主性に任せており、全体での統一が図られていません。そのことが要因でデジタルドリルの活用が中学校では低い結果となっていることが課題です。	目標値	R11年度　100％				
				【今後の取組】 小学校では継続して毎日の持ち帰りを実施し、デジタルドリルの活用を進めます。 中学校については、教科担任制でありデジタルドリルの活用の統一が難しい状況ですが、教科を指定して課題配信を行うなど学校と調整を行いながら、デジタルドリルの活用を図ります。 また、毎年度実施している教員向けの活用研修を継続して実施し教員のスキル向上を図ります。	年度実績	100％				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			実施項目評価	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	子育て支援サービスの推進 担当課：健康・こども課 子育て支援センター「たんぽぽ」や学童クラブの利便性を向上させるとともに、子育て短期支援事業や病児・病後児保育の利用を促進します。また、保育料の軽減や一時保育、障がい児保育などの保育サービスの充実を図ります。	子育て支援センター年間利用者数	7,499 人（R5）	**【実施状況等】** 子育て支援センターでは、職員が保護者からの相談に対応する体制を継続し、相談対応を行いました。また、赤ちゃん訪問時には保健師が、乳幼児健康診査時には子育て支援センター職員が保護者に対して利用案内を行いました。 今後も利用者数の維持・増加に向けた取組を継続する必要があります。 **【今後の取組】** 子育て支援センターの利用者数の維持・増加を図るため、相談体制を継続するとともに、赤ちゃん訪問や乳幼児健康診査等の機会を活用した周知を続けます。	目標値	R11年度　7,500 人				
					年度実績	6,304人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		たんぽぽでのイベント実施回数	61 回（R5）	**【実施状況等】** 当初予定どおりに毎月イベントを実施するとともに、広報あしや・ホームページで広く周知を図りました。 **【今後の取組】** 保護者のニーズに応じたイベントを実施するとともに、広報あしや・ホームページを活用した情報発信の取り組みます。 また、職員体制を踏まえた上で実施可能なイベント計画を策定し、質の高いイベントの提供及び将来的なイベント回数の拡充を図ります。	目標値	5年間の累計　310 回				
					年度実績（累計）	61				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・九州女子短大のキャラバン隊によるオペレッタ発表会を九州女子大にて１回、模擬保育を保育所１園で実施しました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅲ　若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる
戦略３　いきいき子育て支援

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	通学費補助制度の推進 担当課：学校教育課 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小中学生や高校生などが公共交通機関を利用して通学する場合の通学用定期代を補助します。また、高校生などが公共交通機関を利用せずに通学する場合にも補助を行います。あわせて、電子申請の活用を推進し、申請者の利便性向上に努めます。	通学費補助金交付率 ※R9で補助制度が終了する予定	84.0％（R5）	【実施状況等】 公共交通機関を利用して通学する小学生から高校生等までの児童・生徒の保護者を対象に、通学定期代の半額を補助しました。また、上記に該当しない高校生等の保護者に、2万円を補助しました。しかし、送迎バスを運行している高校への進学も増加しており、2万円補助の対象と認識していない家庭も一定数いると考えられます。	目標値	R9年度　85％				
				【今後の取組】 引き続き、中学校３年生時に案内を行い周知を図ります。従来紙媒体で案内を配布をしていましたが、紙での配布に加え、保護者連絡ツール（スクリレ）での配布を行います。	年度実績	83.6%				
					取組及び実績の総合評価	A				
		通学費補助金の電子申請率 ※R9で補助制度が終了する予定	0％（R5）	【実施状況等】 広報やホームページ、町公式LINEを通じて通学費制度の周知及び電子申請について周知を行いました。また、窓口申請者に対して電子申請の案内を行い、次回以降電子申請の利用を行うように促しました。	目標値	R9年度　90％				
				【今後の取組】 引き続き、中学校３年生時に案内を行い周知を図ります。従来紙媒体で案内を配布をしていましたが、紙での配布に加え、保護者連絡ツール（スクリレ）での配布を行います。 申請率の低い２万円補助については、２万円補助分は年１回の受付となることから、広報や、ホームページ、町公式LINEで周知を行う際に、電子申請を積極的に活用するように周知を行います。	年度実績	84.6%				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			実施項目評価	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
③	こどものあそび環境整備 担当課：環境住宅課 子育て世帯が利用しやすく、安心してこどもを遊ばせることのできる公園整備を、地域住民とともに計画し推進します。また、高齢者やこどもの地域交流の場などとしての活用を推進します。	公園遊具の点検率	100%（R5）	**【実施状況等】** 遊具のある公園23か所すべての点検を予定どおり実施しました。	目標値	R11年度　100%				
				【今後の取組】 引き続き遊具のある公園の点検を実施し、安全なあそび場の提供に努めます。	年度実績	100%				
					取組及び実績の総合評価	A				
		点検の結果整備が必要となった公園の整備率	57.9%（R5）	**【実施状況等】** 遊具の点検の結果改修等が必要となった公園について、優先順位を決めて整備を実施し、安全性の確保を図りました。なお、公園の整備や遊具補修・撤去などの方針については、区長など地域の意見・要望を取り入れています。	目標値	R11年度　100%				
				【今後の取組】 引き続き、点検の結果改修・撤去が必要となった遊具等については、区長などの地域の意見を確認しながら優先順位をつけて計画的に整備を行います。	年度実績（累計）	89.5%				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・専門事業者による年１回の定期点検に加えて、職員による月１回の定期点検を実施し、遊具の安全性の確保を図りました。			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	芦屋タウンバス事業の充実 担当課：環境住宅課 本町が運行する芦屋タウンバスについて、利用者ニーズに対応した運行体系に見直すとともに、計画的な車両の購入やバス停の整備を行います。	芦屋タウンバス年間利用者数	100,730 人 (R5)	**【実施状況等】** 利用者ニーズに応じた運行とするため、ＪＲ時刻表に合わせた芦屋タウンバス時刻表改定を行い、乗り継ぎの改善を図りました。また、令和８年３月号の広報あしやで利用促進の呼びかけを行いました。 年々人口減少が進む中での利用者数増加が目標であるため、イベントなどによる一過性のものではなく、日常的な利用者を増価させる必要があります。	目標値	R11年度　120,000 人				
				【今後の取組】 引き続き利用促進の周知を行い、利用者数の増加を図ります。	年度実績	103,794人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・令和８年度にバス車両の更新を行うため、情報収集や予算の計上を行いました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅳ　ずっと住み続けたい、時代にあった地域をつくる
戦略１　交通ネットワークの充実

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数（KPI）	基準値（基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
②	公共交通ネットワークの推進 担当課：環境住宅課 北九州市交通局と締結した「公共交通ネットワークの確保維持に関する協定書」により、北九州市営バス、芦屋タウンバスの路線及び便数を確保維持し、将来にわたって持続可能な公共交通となるよう連携協力を図ります。	平日 1 日のバス運行便数	151 便（R5）	**【実施状況等】** 年度当初に北九州市交通局と便数に関する確認を行っており、減便を検討している場合は、協議を実施することとしております。令和７年度は前年度同数の１日151便を確保維持することができました。	目標値	R11年度　151 便				
				【今後の取組】 将来にわたって持続可能な公共交通となるよう、引き続き北九州市交通局と連携協力を図ります。	年度実績	151便				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
①	協働のまちづくりの推進 担当課：環境住宅課・生涯学習課 「芦屋町住民参画まちづくり条例」の基本理念のもと、まちづくりに対する関心を深めてもらうため、まちづくりの方向性やその実現に向けた具体的な取り組みなど、必要な情報を必要な人が受け取れるよう、情報発信や住民参画機会の提供に努めます。また、自治区担当職員制度を推進するとともに、ボランティア活動の拠点であるボランティア活動センターの利用を促進します。	自治区担当職員制度における参加行事数	12 回（R5）	**【実施状況等】** ９自治区13行事の支援要請があり、実際に６自治区７行事への支援を行いました。 （自治区側から取り下げ：２件、職員参加者なし：４件） なお、まちづくり計画策定について要請はありませんでした。	目標値	5年間の累計　60回				
				【今後の取組】 自治区から要請のあった行事に対して、職員の参加者がいない状況をなくすことを目指します。また、行事だけでなく、自治区の活動を支援できるような制度への見直しを検討します。	年度実績 （累計）	7回				
					取組及び実績の総合評価	B				
		ボランティア活動センター利用者数	2,721 人 （R5）	**【実施状況等】** ボランティア活動を始めるきっかけとなるよう、体験型講座（２回）や、経験者のスキルアップを目的とした体験型・交流型研修（１回）を実施しました。 また、りーどぼらんてぃあキッズは海岸清掃などの実践活動を通じてボランティア活動について学習しました。（９回） 併せて、広報紙の発行（４回）や広報あしやへの掲載を通じて、ボランティア情報の提供や、活動の周知に努めました。	目標値	R11年度　2,890 人				
				【今後の取組】 ボランティア活動センターの活動内容を周知し、センター利用者の維持・増加を図ります。 また、ボランティア活動団体の周知やボランティア研修会などにより、ボランティア活動のきっかけとなる機会を提供するとともに、周知方法の見直しを検討します。	年度実績	2,321人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
②	シビックプライドの醸成 担当課：学校教育課・生涯学習課・芦屋釜・歴史文化課 歴史や伝統文化・産業・自然など様々な魅力を住民が知り、誇りに思うとともに、郷土心を醸成し、地域への愛着と定着を図るため、「小中学生のあしや砂像展訪問」「公民館講座」「鋳物師による古印づくりワークショップ」など様々な分野で取り組みを推進します。	学校教育分野におけるシビックプライドの醸成の取組	4事業（R5）	**【実施状況等】** 小中学生を対象に４事業（芦屋釜の里訪問、古印づくり体験、あしや砂像展訪問、芦屋かるたの活用）を実施しました。小学校３年生～中学校３年生までのシビックプライドアンケートの結果で、「芦屋町が好きである」の項目で肯定的な回答が小学生94.0%・中学生が92.6%、「町を誇りに思う」の項目で、小学校が95.2%・中学校が92.6%となっており、シビックプライドの醸成につながっていると考えられます。	目標値	5年間の累計 20事業				
				【今後の取組】 引き続き現在の取組を実施し、シビックプライドの醸成を図ります。	年度実績 （累計）	4事業				
					取組及び実績の総合評価	A				
		生涯学習分野におけるシビックプライドの醸成の取組	4事業（R5）	**【実施状況等】** 小中学生を対象とした佐野市との青少年交流事業と、中央公民館講座全13講座のうち、シビックプライド醸成に係る講座を３講座実施しました。	目標値	5年間の累計　20 事業				
				【今後の取組】 継続して事業を実施するとともに、事業内容の見直しや広報の改善により、参加者の増加を図ります。	年度実績 （累計）	4事業				
					取組及び実績の総合評価	A				
		芦屋釜の里におけるシビックプライド醸成の取組	2事業（R5）	**【実施状況等】** 小中学生を対象とした古印づくりワークショップ、小学生や幼児を対象とした体験茶会事業の２事業を実施しました。 現在、本事業は学校等（保幼小中）からの依頼に基づき実施している事業となっています。芦屋釜の里の知名度アップを図るため関係各所と協議し広報活動への協力を求めていくことが必要です。	目標値	5年間の累計　10 事業				
				【今後の取組】 次年度も継続して事業を実施するとともに、学校側に問題のない範囲で芦屋釜の里インスタグラムにシビックプライド醸成活動の一環として、情報発信を行います。	年度実績 （累計）	2事業				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・芦屋釜の里において、山鹿小学校による「まち探検」授業を支援しました。 ・芦屋釜の里において、芦屋中学校茶道部の活動を支援しました。（大茶室の利用）			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
③	高齢者がいきいきと生活できる環境づくり 担当課：福祉課 高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化・推進するために、身近な地域で集い、交流できる場として、自治区での地域交流サロン事業を推進します。また、認知になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことを目指して、認知症サポーターの養成講座を実施します。	地域交流サロン事業実施箇所数	24箇所（R5）	**【実施状況等】** 広報あしや９月号、11月号で新規サロンの募集の呼びかけを行いました。 サロン未実施や休止地区の参加希望者の受け入れが可能かサロン実施地区を呼びかけたところ、10地区が受け入れ可能とのことを確認し、回覧板で周知しましたが、他の地区には参加しにくいようで、参加者はいませんでした。 サロン未実施区では、代表者の成り手不足や参加者の不足などの問題を抱えています。	目標値	R11年度　30箇所				
				【今後の取組】 引き続き年２回、広報あしやで新規サロンの募集の呼びかけを行います。 また、サロン未実施地区やサロン未加入者に興味を持ってもらい、立ち上げにつながるよう、地区に関係なく参加できるサロン交流会を町で開催します。 併せて、代表者の負担を軽減するため、補助金申請書の書き方などを窓口で支援するなど、サポート体制を整えます。	年度実績	24箇所				
					取組及び実績の総合評価	B				
		地域サロン事業参加者数	5,408人（R5）	**【実施状況等】** 広報あしや９月号、11月号でサロンへの参加の呼びかけを行いました。また、サロンに出向き、直接参加者から活動内容や困りごとを聞き取りました。 併せて、ふくおか健康ポイントアプリのポイント導入に向けて健康・こども課と協議しました。	目標値	R11年度　5,700 人				
				【今後の取組】 引き続き年２回、広報あしやでサロンへの参加の呼びかけを行います。 サロン新規参加者が減少傾向にある中、サロン参加の特典としてふくおか健康ポイントアプリのポイントを付与し、参加者増を図ります。	年度実績 （累計）	5,427人				
					取組及び実績の総合評価	B				
		認知症サポーター養成講座受講者数	32人 （R2～5の平均）	**【実施状況等】** 認知症サポーター養成講座を申請のあった団体に実施するとともに、新たにキッズサポーター養成講座を町内の小学校に対して実施した結果、受講者数が大幅に増加しました。	目標値	5年間の累計　160 人				
				【今後の取組】 引き続き認知症サポーター養成講座を申請のあった団体やキッズサポーター養成講座を町内の小学校に対して実施し、認知症を理解し、認知症の方を地域で温かく見守る応援者の増加を目指します。 また、認知症サポーター養成講座（出前講座）について、広報あしややLINEだけでなく、区長会や民生委員児童委員、地域交流サロン、老人クラブ、自治区公民館体操等の地域の場に出向き、直接周知を行います。 併せて、職域を対象にした認知症サポーター養成講座について、具体的に検討を行うとともに、社会福祉協議会や学校教育課等、他関連機関・部署と協議を行います。	年度実績 （累計）	137人				
					取組及び実績の総合評価	S				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・認知症の人や認知症が疑われる人を早期に支援へ繋げるため、認知症地域支援推進員研修（現任者研修）を１名が受講しました。			**実施項目評価**	B				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th>実施項目
実施概要</th><th rowspan="2">重要業績評価指数
（KPI）</th><th rowspan="2">基準値
（基準年度）</th><th rowspan="2">令和７年度実施状況等</th><th colspan="6">目標値及び年度実績</th></tr>
<tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr>
<tr><td rowspan="6">④</td><td>安全・安心な地域づくり
担当課：環境住宅課・総務課
防犯パトロールなど、各種団体との連携による地域ぐるみの防犯活動を推進するとともに、防犯カメラの設置など、防犯環境の整備を推進します。また、住民の防災訓練参加を促し、防災知識の普及に努め、地域防災力向上を図ります。</td><td rowspan="2">防犯パトロールの実施回数</td><td rowspan="2">12回（R5）</td><td>【実施状況等】
警察との協働防犯パトロールを毎月１回実施しました。
また、不審者に関する相談時に、防犯カメラ設置補助金制度の案内を行い、防犯カメラの設置を促進しました。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　60 回</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
町内での街頭犯罪は減少傾向であるため、パトロールを継続してさらなる減少につなげます。
また、防犯カメラ設置補助金制度については認知度が低いと考えられるため、更なる周知徹底を図ります。</td><td>年度実績</td><td>12回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">防災訓練の実施回数</td><td rowspan="2">2回
(R5)</td><td>【実施状況等】
６月に大雨・洪水避難訓練、11月に地震・津波避難訓練を実施しました。
大雨・洪水避難訓練ではＡＥＤや胸骨圧迫による救命に関する講習、地震津波避難訓練ではロープワーク体験（中央公民館）を実施するなど、遠賀郡消防本部と連携した事業を実施することができました。
訓練がマンネリ化しないように内容を変化させていますが、住民参加者の一部から、年２回の訓練が負担となっているという意見がありました。</td><td>目標値</td><td colspan="5">5年間の累計　10回</td></tr>
<tr><td>【今後の取組】
引き続き土砂災害防止月間（６月）と津波防災の日（11月５日）に併せて、訓練を実施しますが、住民参加型の訓練は、11月の地震・津波避難訓練のみとします。６月については、災害発生時の初動対応を円滑に行うために、災害対策本部の立上げ、運営に特化した職員のみによる初動対応訓練を実施します。
その他、防災訓練として、上記訓練に加え、職員を対象に例年、地震・津波避難訓練の中で実施していた地震発生時の初動対応、火災対処に特化した訓練を９月下旬頃実施する予定です。また、１月下旬に被災者支援に関する職員研修を計画しています。</td><td>年度実績
（累計）</td><td>2回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】
・折尾警察署と防犯に関して情報共有を実施しました。
・折尾防犯協会連合会、地域安全運動等で防犯に関する情報収集を実施しました。</td><td colspan="2">取組及び実績の総合評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">実施項目評価</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">5年間の総合評価</td><td colspan="5">※最終年度評価時に記載</td></tr>
</table>

Ⅳ　ずっと住み続けたい、時代にあった地域をつくる

戦略３　広域連携の推進

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績	R7	R8	R9	R10	R11
①	北九州市との連携中枢都市圏構想の推進 担当課：企画政策課 連携中枢都市圏構想にもとづき、北九州市と連携協約の取り組みを推進することで、生活関連機能サービスの向上や連携のメリットを生かした行政の推進を図ります。	北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業数	67事業 (R5)	**【実施状況等】** 毎年度ビジョンの見直しを行っており、連携事業数増は増加しています。 芦屋町を含む17市町からの負担金や北九州市の独自財源を活用し、都市圏ビジョンに基づく連携事業（北九州都市圏域マルシェの開催、北九州都市圏域ホームページの運用、広告配信によるPR、小倉競馬場と連携したPRイベントの開催、インフルエンサーとのSNSタイアップ投稿など）に取り組みました。	目標値	R11年度　67事業				
				【今後の取組】 実施する取り組み（マルシェ・JRAと連携したPRイベントなど）について、ＳＮＳなどを活用した情報発信を強化することで、町内での回遊性の向上と新たな観光入込客（または来訪者）の創出を図ります。	年度実績	77事業				
					取組及び実績の総合評価	A				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 ・人材の育成に基づく連携事業として、３事業（新任課長・係長研修、税・税外債権徴収スキル及び債権管理能力向上のための研修、企画立案研修）に職員を派遣し、能力向上を図りました。			**実施項目評価**	A				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				

Ⅳ　ずっと住み続けたい、時代にあった地域をつくる

戦略３　広域連携の推進

No.	実施項目 実施概要	重要業績評価指数 （KPI）	基準値 （基準年度）	令和７年度実施状況等	目標値及び年度実績					
						R7	R8	R9	R10	R11
②	遠賀郡広域電子図書館の利用推進 担当課：生涯学習課 遠賀郡内の 4 つの町（芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町）が連携し、インターネット上の図書館である遠賀郡広域電子図書館を運営します。あわせて、電子図書を活用した小中学生の読書活動の推進を図ります。	電子図書館のログイン利用率	3.7% (R5)	**【実施状況等】** 図書館の一般利用者に電子図書館の利用促進を図るとともに、小中学校との連携を先行導入したことで、利用率の増加につながりました。	目標値	R11年度　13%				
				【今後の取組】 引き続き電子図書館の利用を促すとともに、他町と調整し書籍の充実を図ります。	年度実績	14.8%				
					取組及び実績の総合評価	S				
		電子図書を活用した読書活動に取り組んだ学校数	0校 (R5)	**【実施状況等】** 小学校のタブレット端末更新のタイミングで、児童生徒のタブレット端末に遠賀郡広域電子図書館のショートカットを作成し、児童生徒が閲覧できる環境を整備しました。併せて、小学校の教員向けに電子図書館に関する研修を実施し、町内全ての小中学校で活用を図りました。	目標値	R11年度　4 校				
				【今後の取組】 今後学校と調整しながら活用方法を検証し、有効活用を図ります。	年度実績	4校				
					取組及び実績の総合評価	S				
		【重要業績評価指数（KPI）以外の取組】 特記事項なし			**実施項目評価**	S				
					5年間の総合評価	※最終年度評価時に記載				